

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (甲信越)	◎	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・各団体や会社等の接待や会合、個人の食事会等の需要が増えている。
	◎	スナック（経営者）	来客数の動き	・改善が続いていたなか、4月は落ち込んだので心配したが、5月は持ち直したので安心した。特にインバウンドが増えているが、他の客も多くなっている。
	◎	観光名所（職員）	来客数の動き	・来客数が好調である。インバウンドの来訪が極端に多く、来客の7割は外国人である。
	○	商店街（代表者）	販売量の動き	・4月の学校販売が済んで、追加注文が多く入っている。最初1組だけ購入したが、運動部に入ったのもう1組追加したいといった注文が多く、学校販売が終了してからもとても忙しい。
	○	スーパー（経営者）	販売量の動き	・前年比では売上は10%増加し、来客数は5%減少している。イベントは順調に開催され、注文も増えている。今年度は地区の会計役や法人会等の役職を引き受けるなど他の仕事も多い。本業については、このままイベントの仕出しを中心にこなしていきたい。
	○	自動車備品販売店（従業員）	来客数の動き	・前年と比べて来客数が増加している。
	○	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・春になると道路状況が良くなるため、首都圏からの客が動き出す。首都圏からの個人客の動きは、新型コロナウイルス感染症発生前の状況に戻っている。ただし、地元客の需要回復は今一つである。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・前月が北陸応援割の影響で非常に好調だったからか、ゴールデンウィークの動きが例年より鈍く感じられた。しかし、ゴールデンウィーク期間中も大幅に落ち込むことはなく、また、連休後も例年より利用が落ち込むこともなく、コンスタントに人の流れが続いている。
	○	通信会社（社員）	販売量の動き	・現状、問合せも含めてだが新規契約数は増えている。ただし、これが継続できるかは不透明な状況である。
	○	その他レジャー施設 [ボウリング場]（経営者）	来客数の動き	・近隣施設の閉鎖直後は余り影響がなかったが、徐々に客が増えている。ゴールデンウィークもにぎわっていた。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークは事前の報道等の過熱ぶりから、大いに期待していたが、実際にふたを開けてみると、インバウンドの影響が少ない当地では例年並みがやっとの人出であった。
	□	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・観光地ではないので、やはりゴールデンウィーク中の売上は厳しかった。連休が終わってもなかなか売上は前年を上回らず、厳しい状態が続いている。
	□	コンビニ（経営者）	単価の動き	・前はやや良くなると予想したが、来客数、販売量共に、低下している。特に、客単価が下がっており、物価高に伴う買い控えをしているようにみられる。レジ横のホットスナックや、デザート等の販売量も落ちている。
	□	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数は横ばいか、若しくは微減である。
	□	家電量販店（店長）	販売量の動き	・市内の他社の状況を確認しても前年割れが続いている。
	□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・今月はゴールデンウィークがあったが、整備部門は目標をクリアしている。しかし、車の部品自体も以前と比べ値上がりしている分、中には基本工賃を下げ対応することがあるのも事実である。車両販売は円安や物価高により、様子見といった客が多い。
□	スナック（経営者）	お客様の様子	・いつも同じ答えになってしまうが、今月も客の様子を選択した。来客数の動きも適当かもしれないが、とにかく景気は悪い。	

□	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・3か月前と同様に、客の旅行意欲は向上したまま、旅行需要も増加している。しかし、団体旅行等は相変わらず低迷している。
□	設計事務所（職員）	来客数の動き	・来客数は多くない状況のままで落ち着いている。
▲	商店街（代表者）	来客数の動き	・市が実施するプレミアム付商品券が始まった。前回は盛り上がったが今回は無風である。期間が長いのと人数制限がないのも要因だろうが、買物意欲のなさも大きい。
▲	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・商材の動きが鈍い。仕掛けをしても購入意欲がみえてこない。様々な値上げが伝えられているなかで、先行きの見えない状況が買い控え、購入意欲の衰退を招いている。
▲	百貨店（経理担当）	競争相手の様子	・能登半島地震の影響から回復基調にあるものの、主要駅の再開に伴い商業施設が4月にオープンした影響が、食品や雑貨、化粧品で出てきている。この影響は一時的なもののみで、しばらくは続くと推測する。
▲	スーパー（経営者）	来客数の動き	・仕入単価上昇で既存店の来客数は微増するも買上点数は微減で、家計は引き締められている。
▲	スーパー（店長）	単価の動き	・買上点数が減少している。客単価も落ちており、ゴールデンウィーク以降は、節約志向の買物である。
▲	スーパー（副店長）	販売量の動き	・来客数は前年並みだが、買上点数は前年割れとなっている。6月から電気代の補助金もなくなり、家計のやりくりが更に厳しくなり、買上点数が更に減少する。
▲	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・政治不信や電気代の補助金の終了により景気はやや悪くなっている。
▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・日中の時間帯の来客数が減少している。昼食を購入する客が減っている。
▲	コンビニ（店長）	販売量の動き	・今月は比較的気温が高く推移し、冷たい商材を中心にかなり良くなるはずだったが、特に、調理麺が伸びていない。水物、アイスは気温が上がれば上がったなりの売上が確保できているという程度で、余り良い動きではない。
▲	乗用車販売店（経営者）	単価の動き	・新車販売の登録台数は増加しているが、足元の受注は減少傾向で、販売単価も下降気味である。供給改善に合わせて販売条件も厳しくなっている。
▲	その他専門店〔酒〕（店長）	お客様の様子	・当店は観光地のインバウンドと都内に客がいる。インバウンドや都内の客については景気の悪さはみられないものの、当地の身の回りの様子をみると、諸物価が上がっても、給料に反映されていないのではないかと考えられ、前月と比べて余り動きは良くない。循環が生まれていけばよいのだが、なかなか厳しいという肌感覚である。
▲	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・3か月前の2月と比べれば、数字的に上向いている。ただし、2月は1年のなかで1番悪い月である。前年4月と比べると今年の4月は北陸応援割と、コンベンションセンターでのコンサートが2件あり、かなり宿泊の稼働が良かった。また、前年5月はG7サミットがあったため、前年の4～5月と比べると数字は下がっている。
▲	タクシー運転手	販売量の動き	・4月は前年比104%だったが、今月は前月よりやや悪く、101%から102%程度で終わりそうである。
▲	遊園地（職員）	来客数の動き	・ゴールデンウィークも含めた土日祝日にイベント等を開催したものの、前月同様、春休み期間と比べると来客数は落ち着いている。
▲	ゴルフ場（経営者）	お客様の様子	・当ゴルフ場の顧客で、工場新設が保留になる等、製造業の業績が停滞しているケースがある。
▲	ゴルフ場（副支配人）	来客数の動き	・4月、5月、6月と徐々に予約の初動や伸びの悪さが見受けられる。
×	*	*	*
◎	—	—	—

動向 関連  (甲信越)	○	窯業・土石製品 製造業（経営 者）	取引先の様子	・ここに来て、受注が増加している。
	□	食料品製造業 （営業統括）	受注価格や販売 価格の動き	・インバウンドによる業務筋への若干の受注増加がみられるものの、諸物価の上昇が収益を圧迫して、厳しい状況が続いている。
	□	電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・受注量は変わらずあるものの、原材料費や光熱費、人件費、輸送費等は高騰している。売上単価は変わらないため、利益が予想より出ていない。
	□	建設業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・一部の資材を除いて、高値安定のよう見受けられる。
	□	金融業（調査担 当）	取引先の様子	・製造業は在庫調整の影響が続いているが、下げ止まりの動きも見られる。非製造業は観光関連が底堅いものの、物価上昇の影響が業績を下押ししている。
	□	金融業（経営企 画担当）	取引先の様子	・外国人観光客が多く、周辺地域の観光業は恩恵を受けているとみられるものの、一部の地域に偏っており、地域全体への波及はまだみられない。
	▲	電気機械器具製 造業（従業員）	取引先の様子	・仕入業者の話では、売り込んでもなかなか売れないとのことである。また、仕入価格が大幅高くなっているが、値引きしないと売れない状況が続いているという話である。
	▲	その他製造業 〔宝石・貴金 属〕（経営者）	受注量や販売量 の動き	・店頭の上昇が伸びないなか、宝飾品の販売を支えてきた働きも経費の増加で開催が減ってきている。地金やその他貴石類の材料高から商材単価が上がっているため、売上は前年を超えてはいるものの、利益は減っている。宝飾品で売れているのは高額時計やブランド宝飾品である。これらは円安の影響や需要の高まりから値上がり感が顕著であるため、客の興味もそちらに移っており、一般の宝石店には厳しい状況である。
	×	食料品製造業 （製造担当）	それ以外	・商材価格を上げてこれからというときに、また原材料の値上げの話が来ている。これでは値上げが追い付かない。
雇用 関連  (甲信越)	◎	—	—	—
	○	—	—	—
	□	人材派遣会社 （営業担当）	雇用形態の様子	・人手不足と言いながら、最小限の人件費で抑えようとして採用に至らないケースが多い。企業側も検討しないと今後も人手不足は解消されない。
	□	求人情報製作会 社（総務担当）	求人数の動き	・人材不足だと言いつつ求人を出さないクライアントが多い。求人を出しても人が来ないという理由が多い。
	□	民間職業紹介機 関（経営者）	求人数の動き	・円安や物価高の影響で、現状維持が続いている。
	▲	*	*	*
×	—	—	—	